

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営の基本理念

木を活かし、よりよい暮らしを。地球、社会、人との共生を通じて、豊かで持続可能な社会の実現に貢献する企業であり続けること。

売上高経常利益率
3%以上

売上高
76,500百万円

営業利益
1,000百万円

経常利益
800百万円

2 中長期の経営戦略

1. 安全管理の強化

2023年の重大事故を教訓に、従業員の安全意識向上と職場環境整備を推進。全従業員が安全に業務遂行できる体制構築。

3. 新築依存から脱却

リノベーション・リフォーム需要の獲得と非住宅分野での販売強化により、事業構造を転換。事業領域を拡大。

2. 住宅資材事業の成長

既存販売先でのシェアアップと新規開拓。多様なニーズに対応した製品開発とSNS含む販売促進策で売上拡大。リフォーム・非住宅分野強化。

4. 木質ボード事業の再生

ENボード株式会社の収益改善を最優先課題に。月間15,000トンの安定生産体制構築。パーティクルボードの新用途開発と住宅資材への積極採用。

3 対処すべき課題

① 経営基盤の安定化

- ・ 2025年3月期の営業赤字から脱却。安定した利益計上体制構築が急務。
- ・ 販売価格の改定浸透が困難。供給過多の市場環境下での収益性改善。
- ・ 製造原価低減と販売構成改善による更なる収益性向上。

② 住宅市場の構造的課題

- ・ 人口減少・少子化により新築需要の大幅回復が困難。予想より速い進行。
- ・ 住宅価格上昇と金利上昇で住宅取得マインド低下。新設着工戸数が低調推移。
- ・ 建築基準法改正に伴う4号特例縮小の影響対応。

③ 安全管理体制の構築

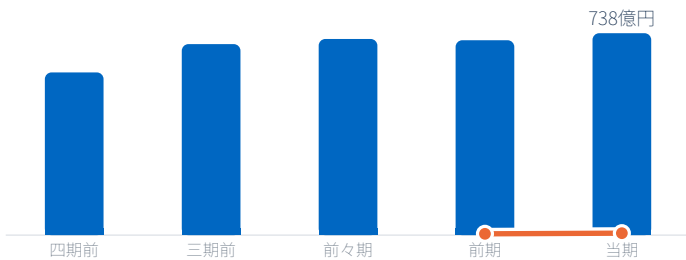
- ・ 2023年2月以降の重大事故2件。安全管理の根本的改善が必須。
- ・ 全従業員の安全意識向上と職場環境整備推進。

面接で使えるポイント

- ・ 2027年3月期最終年度の中期経営計画『EIDAI Advance Plan 2026』を通じた安定経営基盤構築への取り…
- ・ 新築依存からの脱却を目指し、リノベーション・リフォーム、非住宅分野で事業領域を拡大する戦略。
- ・ 『木を活かし、よりよい暮らしを』の理念に基づく持続可能な森林利用と循環型事業展開への本気度。

証券コード 7822

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
738億円営業利益率
1.0%財務健康度
28点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 44.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
588万円

その他製品内 49位/105社

平均年齢
43.7歳

その他製品内 34位/105社

平均勤続
19.27年

その他製品内 11位/105社

女性管理職
2.2%

その他製品内 71位/83社

男性育休
82.4%

その他製品内 28位/63社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 永大産業[7822]：業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

